

# なと市議会だより

第144号  
2013.11.1



## 市議会のインターネット配信が始まりました

9月定例会から議場のマイク設備等が一新され、インターネット配信(生中継と録画中継)が始まりました。市役所ホームページのトップページから「議会中継」をクリックしてごらんください。本会議と東日本大震災復興調査特別委員会及び財務常任委員会について配信いたします。注：録画中継は編集作業のため、会議後配信まで数日間お時間をいただきます。

9月議会  
ヘッドライン

市政のここが聞きたい	一般質問	P 2
平成24年度決算の中身は	決算審査	P10
議会懇談会を開催します	議会からのお知らせ	P15
インターネット映像配信開始	議会からのお知らせ	P15
第2回調査中間報告	東日本大震災復興調査特別委員会	P16

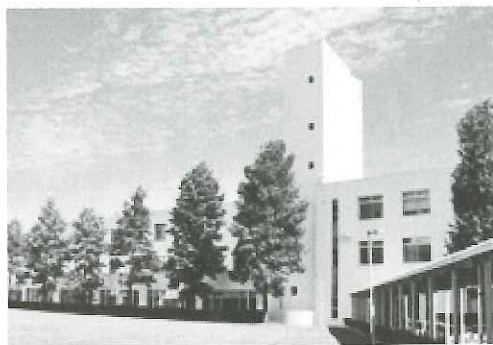
# かな学力の向上のため 市教委の指導力発揮を

## 答 学校の取り組みを 支援・指導したい



山田 司郎 議員

**議員** 確かな学力向上のため市教委の指導力を発揮すべき。放課後の補充学習や夏休み中の補習を行うよう、各学校を指導すべき。  
**教育長** それぞれの学校の取り組みを支援し指導したい。子供たちの学力を保証するのが学校の大きな役割であ



▲ 尚網学院大学キャンパス

り、熱意を持って取り組む教員を育てたい。  
**議員** 学校における学習支援強化を図るため、大学との官学連携を深めるべき。  
**教育長** 仙台大学や尚網学院大学と覚書を交わし、授業の指導補助や夏季休業中の補習等について学生の支援を受けている。今後も連携協力を進めていく。  
**議員** 連携が進んでいないのではないかと。  
**教育長** 支援のマッチングの問題や学生の交通手段の確保、予算の裏づけが必要であるから、学校任せではなく市教委として大学側と相談したい。

**議員** 小中学校が活用しやすく、大学生が支援しやすい環境づくりについて、市と教育委員会、大学の3者で話し合いをすべき。  
ボランティアの単位認定について、大学と協議してはどうか。  
**教育長** 大学側と十分に話し合いたい。  
**議員** 先生が子供たちと向き合う時間をつくるのが大切である。発達障害など特別な支援が必要な児童・生徒への学習支援ボランティアとして、教員経験者を活用すべき。  
**教育長** 指導方針の検討・研究が必要である。

# 海岸防災林の再生は どうなっているのか

## 答 公益財団法人オイスカに任せたい



小野 泰弘 議員

**議員** 民有林植栽計画はどうなっているのか。  
**市長** 公益財団法人オイスカより、市有保安林の植栽から維持管理にわたる長期の再生活動について協定締結の申し出がある。国・県との調整が必要だが、この申し出に基づき協



▲ 造成が完了した海岸防災林生育基盤 (北釜地区)

定を取り交わして平成26年春からの植栽を考えている。また、地元団体育成に対する助成や広報活動などの支援を行っている。  
**議員** 地元住民、地域緑化団体、NPOや企業等の参画による植栽を積極的に進めるべき。  
**市長** オイスカの呼びかけによる企業や地域住民などのボランティアの参加を得ながら進められていくものと考えている。市としてもこの活動の輪が広がる

よう協力していく。  
**議員** 植える面積、場所等についてオイスカとの話し合いはどうなっているのか。  
**部長** 林野庁が造成した場所全てをオイスカに任せるということだったが、国が方針を変更しているため、改めて国・県との調整が必要である。

**議員** 民間団体等と継続的に連携し植栽後の苗木を守るための維持管理体制を確立すべき。  
**市長** オイスカからの申し出は10力年の長期的活動であり、名取市海岸林再生の会や企業、市民を含めたしっかりとした体制になるものと捉えている。市としても、これらの活動をしっかりと支えていく必要がある。

〈その他の一般質問〉  
▽ 内陸防風林について